

か 架けはし

前田まちづくりセンターだより

vol.39

令和2(2020)年7月



発行者 前田まちづくりセンター
〒006-0816
札幌市手稲区前田6条9丁目2-1
TEL 683-4422 FAX 684-0297

前田まちづくりセンター発行の情報誌「架けはし」では地域の活動などをご紹介します。

前田地区で例年開催される以下の行事が中止となりました

- 7月 軽川魚放流事業（軽川と桜並木を守る会）
- 7月 いきいき日帰り温泉旅行（前田地区福祉のまち推進センター）
- 7月 稲積ふるさとまつり（稲積連合町内会）
- 8月 前田ふれあいまつり（前田ふれあいまちづくり協議会）



来年楽しみにしています

コロナ禍を生きる 各世代がどのようにお過ごしかをご紹介します

子育て中の方たちは今… 手稲保健センター 前田 1-11 TEL681-1211

保健センターには、子育てに関する様々な相談が寄せられます。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言期間中は、前田地区のお母様達からも「気軽に外出できない」「子どもと家にいる時間が長くてイライラする」など、ストレスを訴える声が多く寄せられました。緊急事態宣言は解除されても、感染収束はまだ先ようです。心配事は抱え込まずに、些細なことでも保健センターに御相談ください。

手稲保健センターでは、乳幼児健診を中止しておりましたが、6月より再開し、休止期間中に対象年齢を迎えたお子様から順次御案内しております。マスクの着用・消毒・換気を徹底し、皆様をお迎えいたしますので、安心してお越しください。

【自己紹介】今年度から前田地区の担当保健師となりました山本佳奈と申します。おいしいものや季節のイベントが豊富な札幌市が大好きです。これからよろしくお願ひします。（山本）



小学生は今… 稲積小学校 前田 5-7 TEL685-3871

6月15日（月）、およそ2ヶ月ぶりに通常日課が始まりました。臨時休業期間、家庭学習課題の作成と配付、家庭訪問や個別電話連絡、YouTubeによる動画配信、教師と児童のリモートによる対面会話など、家庭と連携しながら児童の学びや心のケアに努めてきたところです。今後は、学校の新しい生活



様式を踏まえながら、学習活動を進めていきます。感染予防のため、水泳学習が中止になり、休み時間の過ごし方やグループ学習には、まだ制限が多くあります。そのような中でも、子どもたちが安全に楽しく学ぶことができるよう各学校が工夫しながら取り組んでいます。

放課後の過ごし方などにおいての、学校での指導や家庭での対応について学校HPに随時掲載しております。是非ご覧いただき、地域の皆様も児童の見守りにご協力いただきますようお願いいたします。（教頭 本間）

皆様お久しぶりでございます。お元気でいらっしゃいますか？

様々な活動が中止となり、会話の機会が減って寂しい、運動不足で足腰が弱っては心配との声が多く聞かれています。私達も皆様にお会いできず寂しい毎日ですが、ようやくウォーキングの姿を見かけるようになり、ホッとしています。宣言解除により、そろそろ友人に会いたい、安全であれば参加したい等の声も聞かれており、当センターでも『新しい生活様式』（例えば3密を避ける、マスクを着用する等の感染防止策）を取り入れながら再開をと考えております。この



活動には皆様お一人お一人の協力が不可欠です。正しく怖がりながら『コロナに負けない介護予防活動』を一緒に始めてみませんか？

また、たとえ教室への参加が出来なくても、少し離れていても地域の皆様が様々な場所で活動を進めていける。そんなお手伝いを行っていきたく思います。教室の他、相談や講話活動も受け付け中ですので、今後とも宜しくお願い致します。（吉田・井幡）

介護保険に関することや認知症についてのお悩みは地域包括支援センターにもご相談ください

手稲区第1 地域包括支援センター 前田 4-10 TEL695-8000



はじめまして！相談室ころていねは、障がいを抱える方の総合相談窓口です。

札幌市から委託を受け、社会福祉法人湊仁会が運営しております。

新型コロナウイルスの影響を受け、地域の皆様の生活にも大きな影響があったことと思います。障がいを抱える方の中には、福祉サービスを利用し食事や入浴等の生活支援をうけて自宅で生活している方も大勢います。この度の影響で「ヘルパーさんが来られずに食事の準備



ができずに困っている」「通っている事業所が休業となり、1人で過ごす時間が増えてうつ症状が強まってしまった」との相談もありました。相談室では障がいを抱える当事者、ご家族や支援機関と連携を図り、解決にあたっての調整や相談支援を行っております。

「障がい」に関わることの相談は敷居が高く感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、1人で・家族だけで抱えこまないでください。一緒に考えていきましょう！（長谷田）

所長からひと言

4月に着任しました石川です。どうぞよろしく申し上げます。

「新型コロナウイルスの話題はもうたくさん！」という方も多いと思いますが、それぞれの世代で様々なお困りごとがありながらもコロナと向き合っている現状をお伝えしたいと思っておりました。マスクの仕方ひとつとっても相手の行動が気になり、とても気遣う人とまったく気にしない人との差が大きくなり、お互いの考え方の違いが気にかかるかもしれませんが、コロナのせいで健康ばかりか人間関係にも支障が生じてしまっは大変です。いかにコロナとうまく付き合いながら人とのふれあいを深め、自分の生活を充実させられるか2020年の大きな宿題と思ひ乗り切りたいものです。

